

# WILCOMM

## WilMail 受信機能（添付ファイル取込）

MAL002 (Last Update : 2003/9/16)

WilComm AS400 V7.15

© Copyright 2000

K.I.S.S. Inc.



本解説書は、WiIMail の受信機能によりメールに添付された添付ファイル（CSV ファイル又はテキストファイル）を AS/400 のファイルに取り込むための方法を説明します。

**尚、当マニュアルは OS / 4 0 0 のバージョンが V 4 R 4 M 0 以上を対象に記述されています。バージョンが V 4 R 3 M 0 以下の場合は、お問い合わせ下さるようお願いいたします。**

## 目 次

- 1 . 添付ファイル保管用フォルダーの作成
- 2 . 添付ファイル保管先の設定
- 3 . 添付ファイル取込サンプル・プログラム

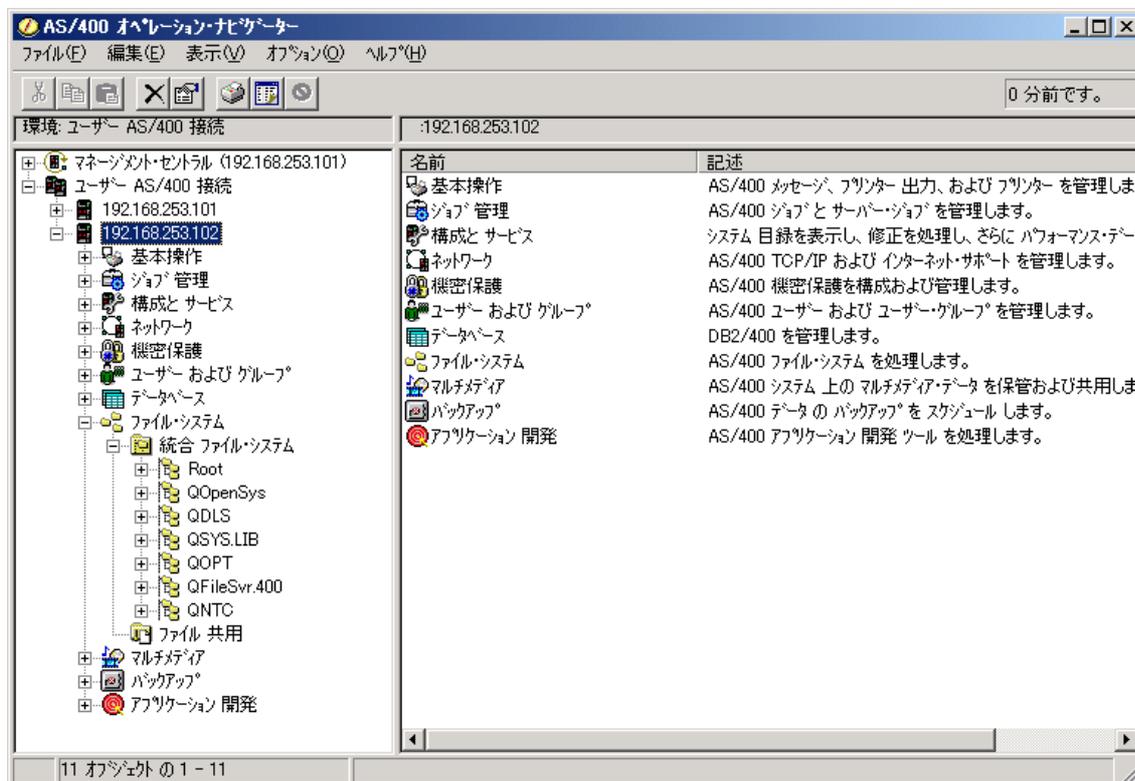
## 【添付ファイル保管用フォルダーの作成】

メールに添付された添付ファイル(CSVファイルまたはテキストファイル)を保管するためのフォルダーを作成します。

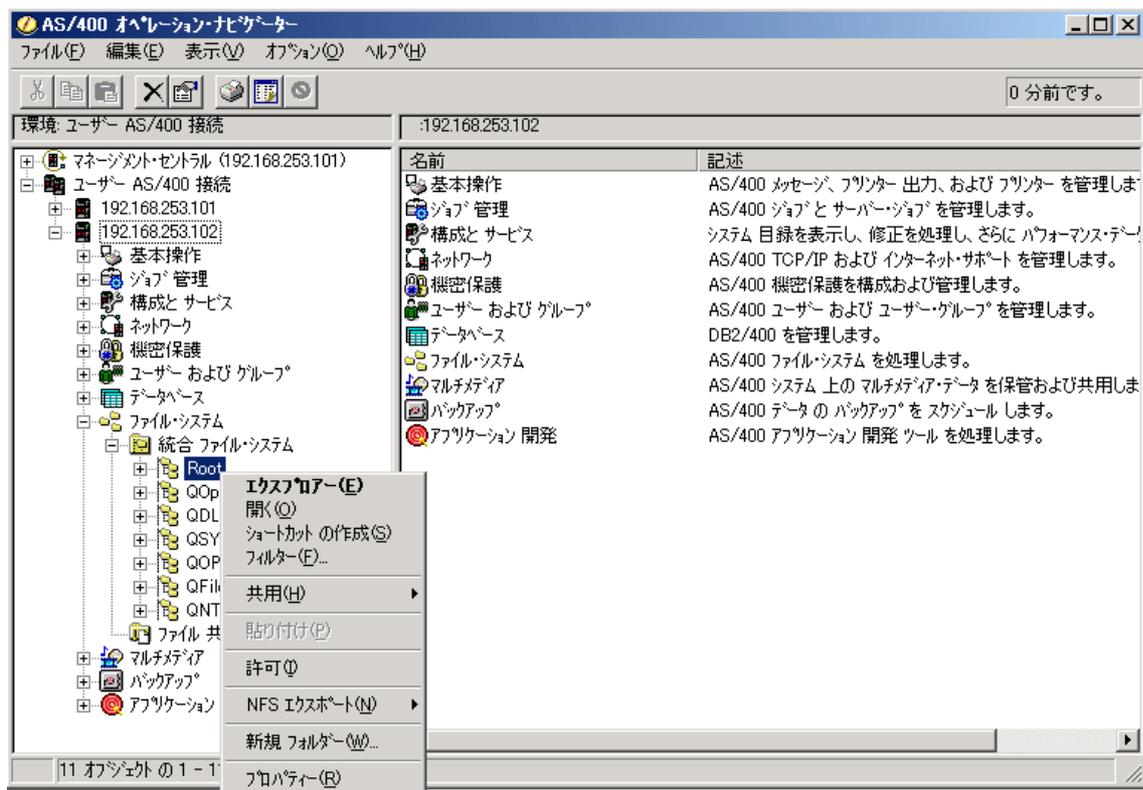
1. AS400 オペレーションナビゲーターを実行します。



2. 該当AS/400に接続を行い、「ファイルシステム」/「統合ファイルシステム」を展開します。



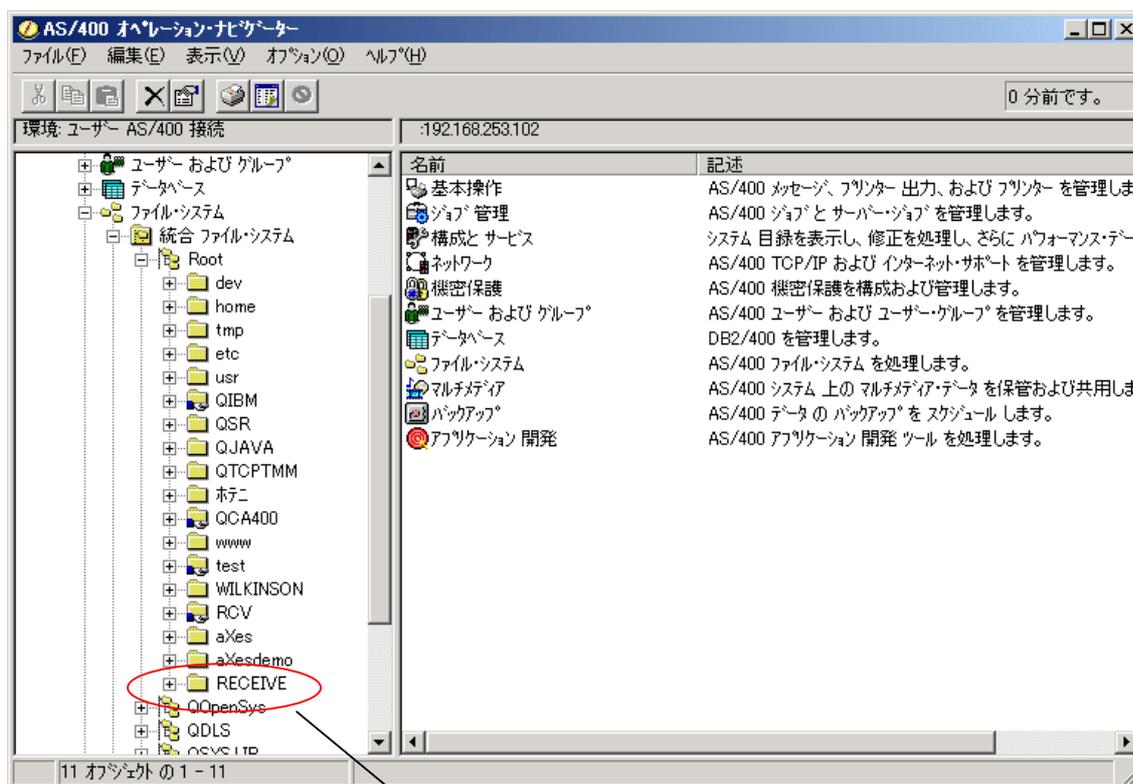
3. 「統合ファイルシステム」の「Root」を選択/右クリックをし、「新規フォルダー」を実行します。



4. フォルダー名を入力し、[ OK ]を押します。

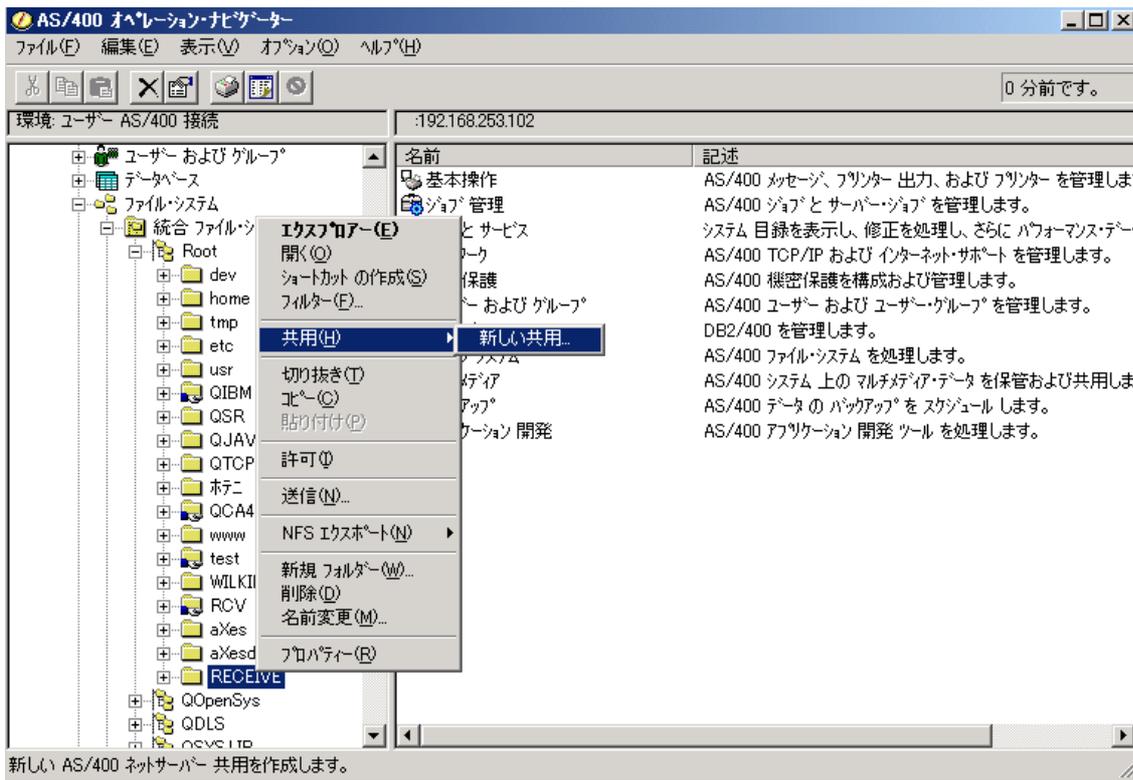


5. 「統合ファイルシステム」 / 「Root」の中に上記4で入力したフォルダーが作成されます。



上記4で入力したフォルダー

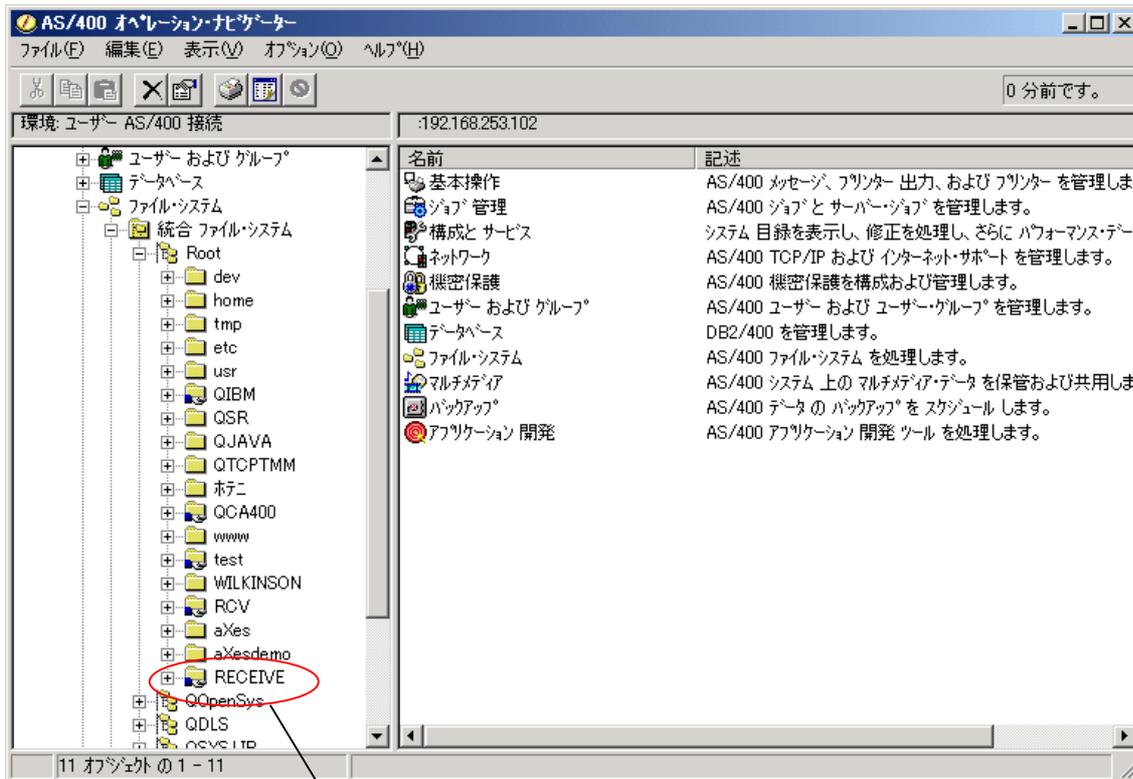
6. 上記4で入力したフォルダー名を選択/右クリックし、「共有」/「新しい共有」を実行します。



7. 「記述」を入力し、「アクセス」に“読み取り/書き込み”を設定し、[OK]を押します。



8. 「統合ファイルシステム」 / 「Root」の中の上記4で入力したフォルダーのアイコンが共有となっていることを確認します。



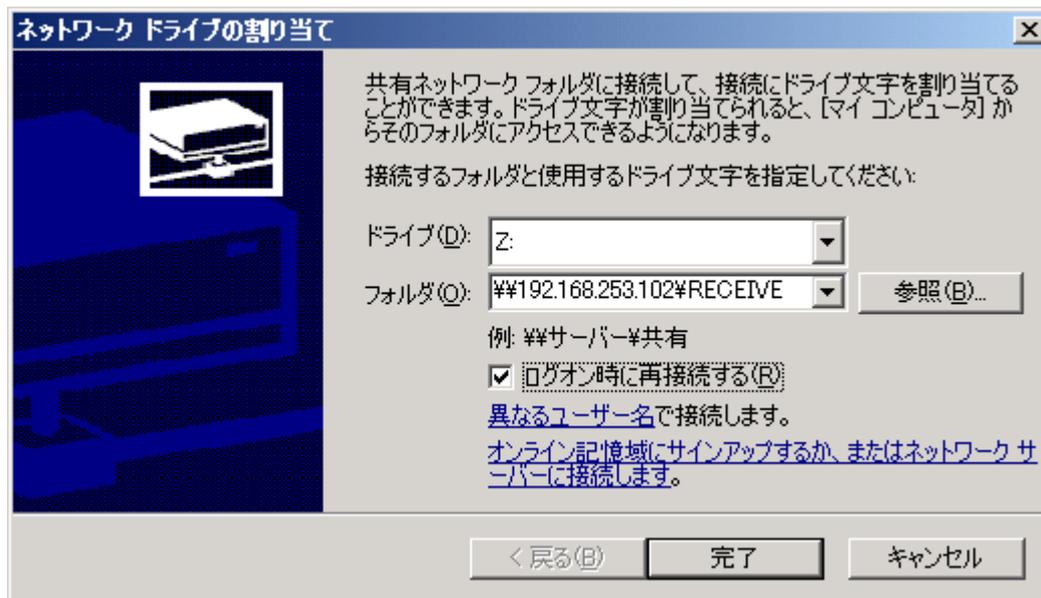
共有アイコンになります。

添付ファイル保管用フォルダーの作成は以上です。

## 【添付ファイル保管先の設定】

Wi lMa i l受信機能にメールの添付ファイルの保管先の設定を行います。

1. メール添付ファイルを保管するためのフォルダー（上記1で作成したフォルダー）をネットワークドライブに接続します。



注意) ドライブ: IはWi lCormの基本機能で接続され使用されますのでIドライブ以外を  
使用するようになります。

2. 「スタート」 / 「プログラム」 / 「WilComm Universal」 / 「WilComm Config」 を実行し、「表示」 / 「Eメールユーザー」 を実行します。

WilCommで受信するためのメールアカウントを選択（もしくは新規作成）し、詳細画面を表示します。

新規WilComm Eメール ユーザーの追加

ユーザー ID: demo  
WilComm Eメール ユーザーのユーザー IDは、重複して使用することはできません

氏名: WilComm受信用メール

送受信タイプ:  
 送信のみ  受信のみ  送信と受信

Eメール受信

POP ユーザー名: demo

POP パスワード: \*\*\*\*

POP パスワード: \*\*\*\*

デコードした添付ファイルを保管するディレクトリ:  
Z:\

Eメール送信

メールボックス名: demo  
メールボックス名は、Eメール アドレスの "@" マークの左側部分

送信メールに添付するファイルを取り出すディレクトリ:  
Z:\WilComm Outgoing Email Attachs#demo

WilComm Eメール メッセージ送信用にEメール ユーザーが設定されていない場合、このEメール ユーザーを送信者として使用する。

OK キャンセル

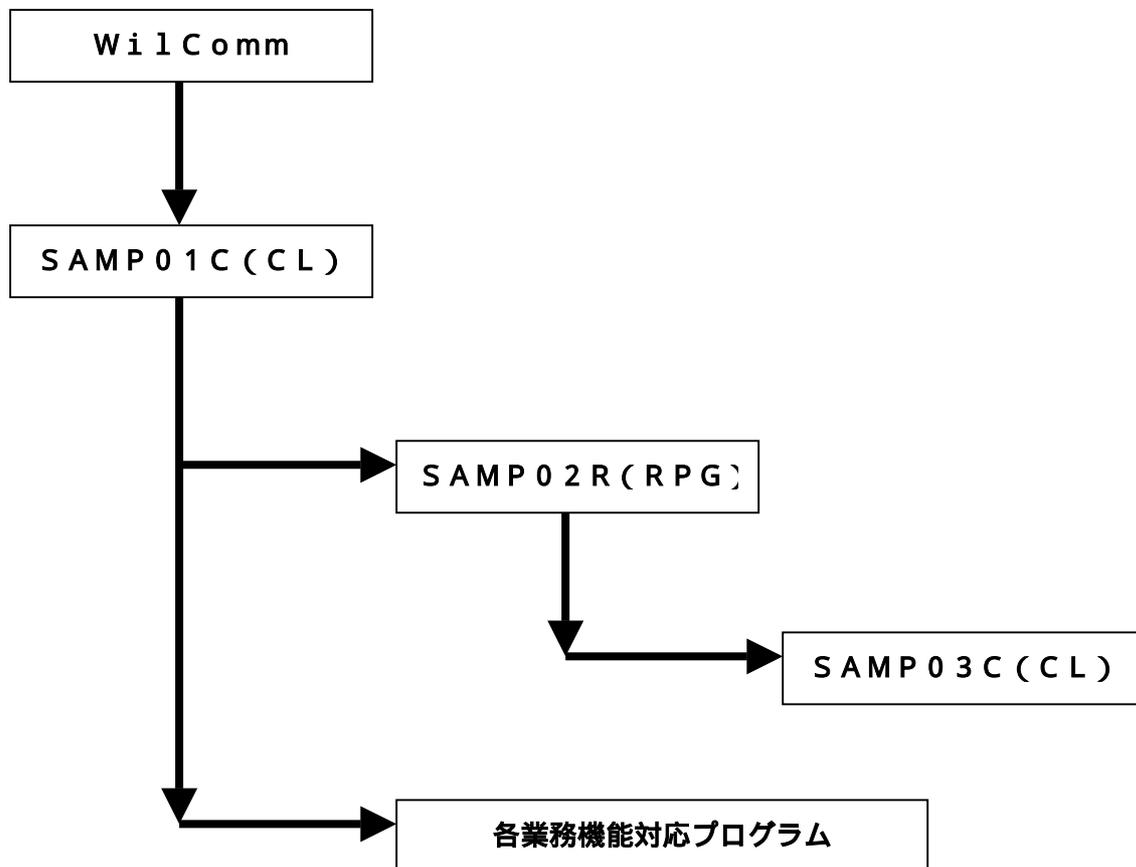
メールに添付されている添付ファイルの保管先を指定します。入力域の右側のボタンを押すことにより参照 / 選択が行えます。

添付ファイル保管先の設定は以上です。

## 【添付ファイル取込サンプル・プログラム】

メールの添付ファイル(CSVファイルまたはテキストファイル)をAS/400に取り込むためのサンプル・プログラム。

### 1. 機能フロー



### 2. 機能概要説明

#### SAMP01C(CL)

このCLプログラムをWi1Commの検索テーブルに登録することで、Wi1Commにより自動的に起動されます。(検索テーブルの登録方法については別マニュアル「Wi1Mail 受信機能」を参照してください)

受信したメールデータは1つのメンバーとしてソースファイルに変換され、AS/400に取り込まれます。このプログラムで読み込み対象メンバー(該当メールデータ)を決定します。

また、各業務機能対応プログラムを起動するステップを組み込むことにより業務別の機能による処理を行うことが可能です。

### SAMP02R (RPG)

受信したメールの添付ファイルは、AS/400上の共有フォルダー（上記の「添付ファイル保管用フォルダーの作成」及び「添付ファイル保管先の設定」で設定したフォルダー）に取り込まれますが、取込先のフォルダー名、ファイル名は上記のソースファイルメンバー中にその名称が記述されます。このRPGプログラムで上記のソースファイルメンバーを読み取り、添付ファイルが格納されたフォルダー、ファイルの名称を取得します。

### SAMP03C (CL)

上記で取得したフォルダー名、ファイル名をもとに共有フォルダー（上記の「添付ファイル保管用フォルダーの作成」及び「添付ファイル保管先の設定」で設定したフォルダー）に格納されたメール添付ファイルを、まずデリミタ付きでワークファイル（物理ファイル：1レコード1フィールド）に変換、その後このワークファイルよりフィールド定義が行われているワークファイル（物理ファイル）への変換を行います。

### 各業務機能対応プログラム

上記で作成したフィールド定義が行われているワークファイルをもとに各業務システムの各処理（例：項目チェックやデータベース更新など）を行います。

### 3. 機能詳細説明

#### SAMP01C (CL)

```

***** データの始め *****
0001.00      PGM      PARM(&P1 &P2 &P3 &P4)
0002.00
0003.00      DCL      VAR(&P1) TYPE(*CHAR) LEN(10)
0004.00      DCL      VAR(&P2) TYPE(*CHAR) LEN(10)
0005.00      DCL      VAR(&P3) TYPE(*CHAR) LEN(10)
0006.00      DCL      VAR(&P4) TYPE(*CHAR) LEN(1)
0007.00
0008.00      OVRDBF   FILE(MESSAGE) TOFILE(WILPLEXD/MESSAGES) +
0009.00      MBR(&P1)
0010.00 /* 格納フォルダファイル名取得 */
0011.00      CALL     PGM(SAMP02R) PARM(&P1)
0012.00      MONMSG   CPF0000
0013.00
0014.00      DLTOVR   FILE(*ALL)
0015.00
0016.00 RETURN:   RETURN
***** データの終り *****

```

WilComm の自動起動プログラムより  
4つのパラメータが渡されます。

パラメータ 1 (P1) に受信メールを格納したソースファイルメンバーのメンバー名がセットされて渡されるのでこのメンバーを OVRDBF コマンドにより読み取り対象にします。  
補足 1 (受信メールの内容が格納されたソースファイルのサンプル) を参照

受信メールの内容が格納されたソースファイルメンバーを読み取る RPG プログラムを実行します。

SAMP02R(RPG)

```

***** データの始め *****
0001.00 H      Y
0002.00 F/TITLE SAMP02C
0003.00 F*
0004.00 FMESSAGE IP F      92      DISK
0005.00 F*
0006.00 E          FIL      50  1
0007.00 E          TBL      3  1
0008.00 IMESSAGE AA
0009.00 I                      1 92 ALL
0010.00 I                      29 30 KEY1
0011.00 I                      32 81 DOC
0012.00 C      *ENTRY  PLIST
0013.00 C          PARM      MBR  10
0014.00 C*
0015.00 C      KEY1  IFEQ 'Z:'
0016.00 C***** 添付ファイル拡張子の取得
0017.00 C          MOVE*BLANKS WKFIL  3
0018.00 C          MOVE*BLANKS FIL
0019.00 C          MOVE*BLANKS TBL
0020.00 C*
0021.00 C          MOVEADOC  FIL
0022.00 C          Z-ADDO    I    20
0023.00 C          MOVE *OFF  *IN90
0024.00 C      *IN90  DOMEQ*OFF
0025.00 C          ADD 1      I
0026.00 C      FIL,I  IFEQ '.'
0027.00 C          MOVE *CN   *IN90
0028.00 C          ENDIF
0029.00 C      I      IFEQ 50
0030.00 C          MOVE *CN   *IN90
0031.00 C          ENDIF
0032.00 C          ENDDO
0033.00 C*
0034.00 C      I      IFLT 50
0035.00 C          Z-ADDO    J    20
0036.00 C          MOVE *OFF  *IN90
0037.00 C      *IN90  DOMEQ*OFF
0038.00 C          ADD 1      I
0039.00 C          ADD 1      J
0040.00 C          MOVE FIL,I  TBL,J
0041.00 C      I      IFEQ 50
0042.00 C      J      OREQ 3
0043.00 C          MOVE *CN   *IN90
0044.00 C          ENDIF
0045.00 C          ENDDO
0046.00 C          MOVEATBL  WKFIL
0047.00 C          ENDIF
0048.00 C***** 拡張子がTXT、CSVのみデータを取り込む
0049.00 C          WKFIL  IFEQ 'CSV'
0050.00 C          WKFIL  OREQ 'TXT'
0051.00 C          CALL 'SAMP03C'

```

受信メールの内容が格納されたソースファイルメンバーを読み取ります。

添付ファイルの格納されたフォルダ・ファイル名を検索するために、ソースファイルのレコード様式に対して項目手定義を行う。

添付ファイルを格納するためにネットワークドライブに接続したフォルダのネットワークドライブ名

添付ファイルの拡張子が CSV または TXT のみを取り込みます。添付ファイルを物理ファイルに変換するための CL プログラムを実行します。

```

0052.00 C          PARM      DOC
0053.00 C          PARM      MBR
0054.00 C          ENDIF
0055.00 C*
0056.00 C          ENDIF
0057.00 C*
***** データの終り *****

```

SAMP03C (CL)

```

***** データの始め *****
PGM      PARM(&DOC &MBR)

DCL      VAR(&DOC) TYPE(*CHAR) LEN(50)
DCL      VAR(&MBR) TYPE(*CHAR) LEN(10)
/** 固定値・フォルダ名 */
DCL      VAR(&FLR) TYPE(*CHAR) LEN(8) VALUE('RECEIVE/')
/** 固定値・ファイル */
DCL      VAR(&FIL) TYPE(*CHAR) LEN(6) VALUE('WKFILE')
/** 固定値・ライブラリー */
DCL      VAR(&LIB) TYPE(*CHAR) LEN(10) +
        VALUE('WILPLEXCHG')

DCL      VAR(&PARM1) TYPE(*CHAR) LEN(50) /* FROM */
DCL      VAR(&PARM2) TYPE(*CHAR) LEN(50) /* TO */

/** ワークファイル作成 (1レコード1フィールド) */
CHKOBJ   OBJ(&LIB/&FIL) OBJTYPE(*FILE)
MONMSG   MSGID(CPF0000) EXEC(DO)
CRTPF    FILE(&LIB/&FIL) RCDLEN(2000) IGCDTA(*YES) +
        MAXMBRS(*NOMAX)
ENDDO

/** FROM パラメータ設定 */
CHGVAR   VAR(&PARM1) VALUE(&FLR *TCAT &DOC)
/** TO パラメータ設定 */
CHGVAR   VAR(&PARM2) VALUE('QSYS.LIB/' *TCAT &LIB +
        *TCAT '.LIB/' *TCAT &FIL *TCAT +
        '.FILE/' *TCAT &MBR *TCAT '.MBR')

/** 添付ファイルコピー (1レコード1フィールド) */
CLRPFM   FILE(&LIB/&FIL) MBR(&MBR)
MONMSG   MSGID(CPF0000)
CPYFRMSTMF FROMSTMF(&PARM1) TOMBR(&PARM2) MBROPT(*ADD)

/** 添付ファイルコピー (フィールド定義) */
CPYFRMIMPF FROMFILE(&LIB/&FIL &MBR) TOFILE(KOIDE/SAMPLE +
        *FIRST) MBROPT(*ADD)

RETURN

***** データの終り *****

```

添付ファイルの保管先フォルダ名、1レコード1フィールドのワークファイル、ワークファイルの保管ライブラリーを固定値として定義します。

1レコード1フィールドのワークファイルを作成します。

1レコード1フィールドのワークファイルに添付ファイルの内容をデリミタ付きでコピーします。

添付ファイルの内容が入ったワークファイルより、その内容を項目定義が行われているファイル（物理ファイル：SAMPLE）へ項目毎にマッピングしコピーします。（補足3参照）

#### 4 . 補足1

受信メールが格納されたソースファイルのサンプル

保管ライブラリー : WILPLEXD 保管ファイル名 : MESSAGES

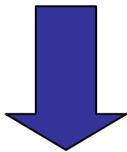
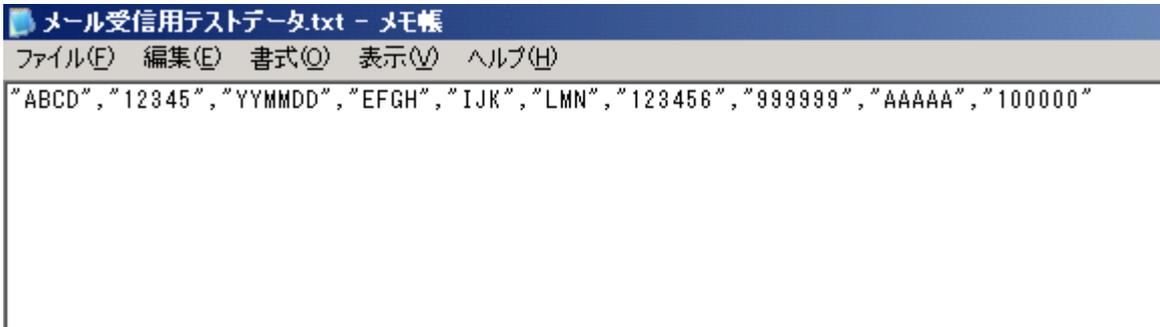
```
***** データの始め *****
0002.00 FROM: KOIDE TOSHIYUKI <KOIDE@KISS21.CO.JP>
0003.00 SENT: FRI, 04 JUL 2003 09:47:53 +0900
0004.00 TO: DEMO@KISS21.CO.JP
0005.00 CC:
0006.00 SUBJECT: メール受信テスト
0007.00 ATTACHED FILES: 1
0008.00 STORED IN: Z:¥ メール受信用テストデータ .TXT
0009.00
0010.00 メール受信テストデータの送付
0011.00
0012.00 キーワード : SAMPLE
0013.00
***** データの終り *****
```

添付ファイルを格納したフォルダー、ファイル名がソースファイルに記述されます。

5. 補足2

共有フォルダー中の添付ファイルの物理ファイルへのコピー

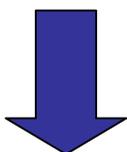
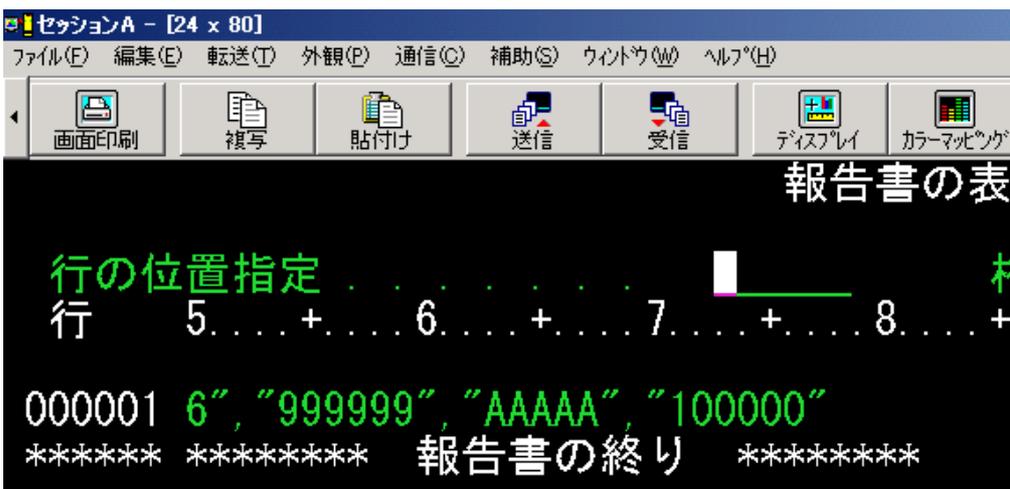
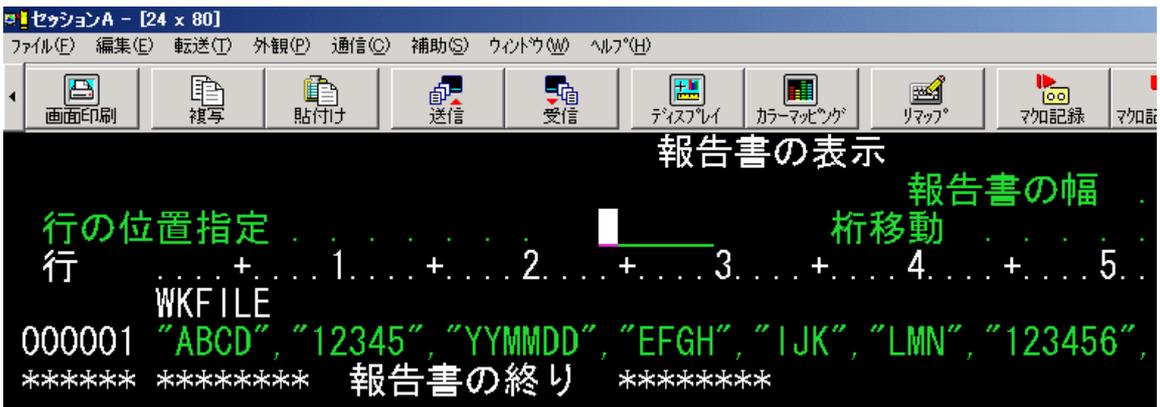
<添付ファイルの内容>

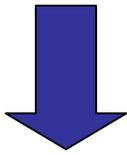


CPYFRMSTMF コマンド

添付ファイル名は漢字やロングネーム(12文字以上)の使用が可能

<1フィールド1レコードの物理ファイルの内容>





CPYFRMIMPF コマンド

項目定義された物理ファイルに項目毎にマッピングしコピー

<物理ファイル：項目定義ありのファイルの内容>

```
セッションA - [24 x 80]
ファイル(F) 編集(E) 転送(T) 外觀(O) 通信(C) 補助(S) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)
画面印刷  複写  貼付け  送信  受信  デイスタブ  カラーマッピング  リマップ  マクロ記録  マクロ記録停止

報告書の表示
行の位置指定  1 2 3 4 5
行 + . . . + . . . + . . . + . . . + . . . +
000001 DATA1 DATA2 DATA3 DATA4 DATA5
      ABCD 12345 YMMDD EFGH IJK
***** ***** 報告書の終り *****
```

```
セッションA - [24 x 80]
ファイル(F) 編集(E) 転送(T) 外觀(O) 通信(C) 補助(S) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)
画面印刷  複写  貼付け  送信  受信  デイスタブ  カラーマッピング  リマップ  マクロ記録  マクロ記録停止 再生

報告書の表示
行の位置指定  6 7 8 9 10 11
行 + . . . + . . . + . . . + . . . + . . . +
000001 DATA6 DATA7 DATA8 DATA9 DATA10
      LMN 123456 999999 AAAAA 100000
***** ***** 報告書の終り *****
```

(注意) CPYFRMIMPF コマンドはヌル値(空白値)などがコピーできない事やデータ属性が合致していない場合はコマンドエラーになる事があります。